

## 銘柄分析レポート：四季報秋号で気になった銘柄

### 1 はじめに

「困ったな。どうしよう・・・」9月の予定を見ながら、思わずつぶやいてしまいました。

外部講師を担当している株式投資セミナーが9月29日に開催され、その1週間前がセミナーテキストの提出期限だったからです。

そのセミナーテキストには「講師が会社四季報の最新号から手動で選んだ銘柄リスト」を掲載する必要がありました。

定期購読している会社四季報秋号が、自宅に届くのは9月13日。9月15日から9月17日にかけての三連休には別の仕事が入っており、いつものようにじっくりと会社四季報を読んでいる時間がありません。

ところが不思議なことに、人間、困ったときほどアイデアが湧き出てくるものです。結局、次のような荒っぽいやり方で、何とか期日までに間に合わせました。

- まず四季報最上段の株価指標とチャートのみ流し読みする。予想PERが15倍以下でチャートの崩れていない銘柄をチェック。ざっと100銘柄に付箋を貼る。
- 次に付箋のついた銘柄の記事や業績を見る。内容が今一つであれば付箋をはがす。ここで50銘柄ほどに絞り込まれる。
- さらに残った銘柄で手書きのリストを作成する（エクセルより手書きの方が早い）。決算短信や最新のチャートを確認しつつ、個人投資家にとって分かりやすい銘柄を中心に20銘柄を選ぶ。

実際にやってみた感想は「時間に追われ、苦肉の策としてやってみたものの、この方法も割と使えるのではないか」でした。